

見込業務実績報告書にかかる質問・確認・資料要求等

※「種類」欄の区分、「1 質問事項 2 確認事項 3 資料要求 4 その他」

評価項目 No	種類	質問等の内容	回答内容
No.1 高度医療の 提供 <がん>	2	・手術支援ロボットの導入に至るまでの経緯、導入後の適応範囲の拡大について説明をお願いします。	○手術支援ロボットにおいては低侵襲技術を用いた複雑な手術が可能となること、平成30年度の診療報酬改定で、ロボットを用いた手術の保険適用が拡大されたこと及びこのような機械の導入により高度・先進医療に対する医師の意欲向上に繋がることが期待されました。 また、患者さんにとっても手術の負担軽減となり県内3番目で北勢地域では初となる手術支援ロボットの導入を決めました。 ○手術支援ロボットは、現在保険適用されている5科（泌尿器科、婦人科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科）での術式のうち、当院では4科（泌尿器科、婦人科、消化器外科、呼吸器外科）での術式に適用しており、三重県内で4科での術式に適用しているのは三重大学病院と当院のみです。
No.8 診療科目の 充実	2	・2019年4月より血液・血栓外来が始まっているとホームページにあります、記載の必要はないでしょうか。	○ご指摘のとおり専門外来の設置等もありましたが、記載内容の検討の中、今回は診療科目の充実の観点から、標榜科における診療科目の新設や常勤医の確保を中心に記載いたしました。追記させていただきます。
No.10 2 非常時 No24、No30、 N033		4年間の評価は良い方向にほとんどが改善されている。 その中で、左記に上げたところは、下方に傾いていますが、令和元年から2年にかけて評価が下がっているのは新型コロナウイルス感染拡大による影響によるものでしょうか。	○「10 インフォームド・コンセントの徹底」、「24 医療従事者の育成への貢献」及び「33 費用の節減」については、患者数の減少や看護実習生の受入の減少、感染対策物品の購入による診療材料比

評価項目 No	種類	質問等の内容	回答内容
N035			率の微増などがあり、ほぼ新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるものです。
No.14 相談体制の充実	1	北勢地域で暮らす外国人の皆さんに対する相談体制はいかがでしょうか。特に、言葉の問題は大きく、医療通訳士の活動は重要です。今後、外国人に対する相談体制を充実する計画はお考えでしょうか。	○通訳として、公益財団法人三重県国際交流財団と「医療通訳者配置業務委託契約」を締結のうえ、週に1回（月曜日）、ポルトガル語の通訳者を配置しています。また、必要に応じて配置された医療通訳アプリ搭載のタブレットを使用して相談対応しております。タブレット配置先としては、地域連携課、看護部、救命救急センターとなります。 ○現在のところ、医療通訳者の増員は計画しておりません。
No.18 地域の医療機関との連携強化	2	・新型コロナウイルス感染症が拡大し他の医療機関や、介護関係職種の方との意見交換や協議に際しての苦勞の記載は必要ないでしょうか。	○例えば患者さんの転院の際には、後方支援病院に転院していただく前にPCR検査を実施するなど、対策を行いました。
No.24 医療従事者の育成への貢献	4	・通常の年は多くの看護実習生を受け入れていただいておりますが、令和2年に関しては、新型コロナウイルス感染症流行下さまざまな制約を受けたと思われるので受け入れ実習生の数が大幅に減少したのだと思います。その悪条件の中、努力の結果14183名という数の実習生を受け入れたという趣旨の内容を加えてはいかがでしょうか。	○医学実習生、看護実習生を積極的に受け入れ、県内医療従事者の育成を図った。特に令和2年度においては新型コロナウイルス感染対策を行ったうえで、実習生の受入を行った。（平成29年度～令和2年度計医学実習生505名、看護実習生14,183名）
No.35 財務内容の改善に関する事項	1	第9事業年度の経常収支比率100%以上達成の主要因は新型コロナ対策補助金等の受入れによるものであります。 人件費比率や材料費比率は上昇傾向にあり、臨時的要因である補助金がなければ100%以上達成は難しかったものと推察されます。 また、令和2年度の収支計画も100%には満たないものであります。	○新型コロナウイルス感染症が長期化し、患者さんの減少が継続している中で、今後の患者さんの受療動向を見通すことは困難な状況であり、適正な人件費比率や材料費比率も見通しを立てることも困難な状況です。

評価項目 No	種類	質問等の内容	回答内容
		<p>た。</p> <p>感染対策の徹底により人件費・材料費等の経費をコロナ前の水準に抑えることは難しい状況であると考えられます。</p> <p>こうした状況を踏まえ、人件費比率・材料費比率の適正化を進めるにあたり、適正水準として、どのように計画されているか教えてください。</p> <p>(例えば、人件費であれば68%くらいまでは抑えることが可能、など)</p>	<p>このため、本年度中に第3期中期計画（令和4年度～令和8年度）を策定する予定をしており、その中で検討していきたいと考えています。</p>